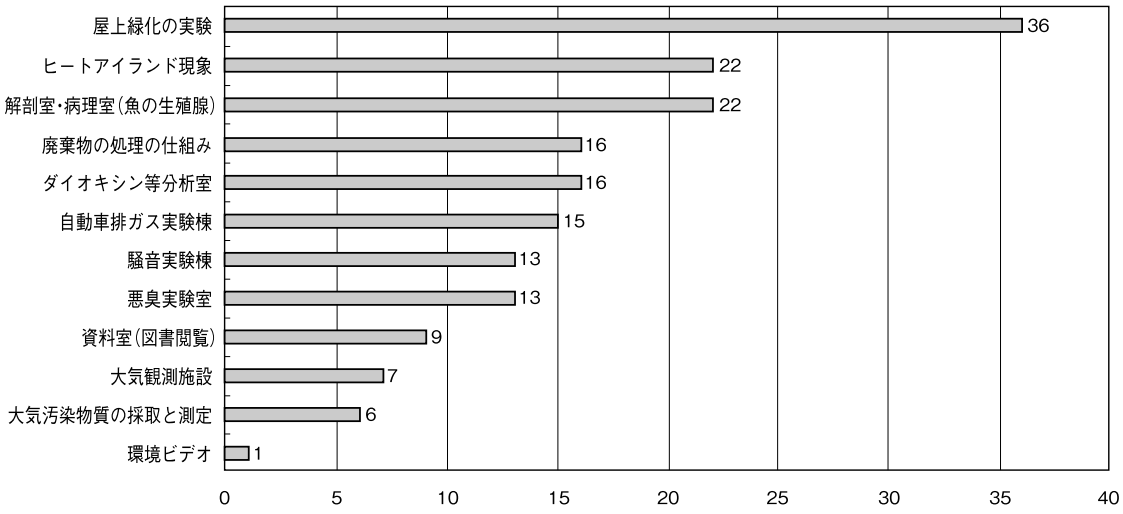
科学技術週間における施設公開

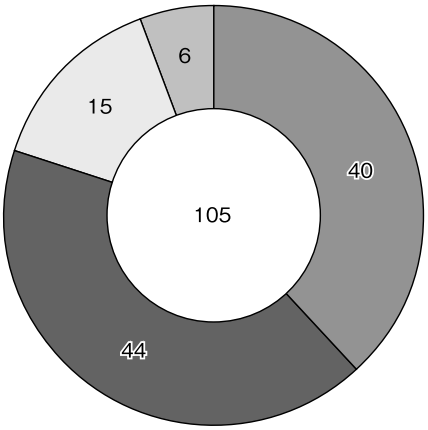
科学技術週間の行事として、今年も４月１７日（土）に研究所施設を一般公開しました。

来所者は１０５名と昨年を上回り、説明に当たった研究員を囲み、熱心な意見交換の輪を広げていました。アンケート調査（６１名）の結果の一部を下図に示しますが、これによりますと、興味をひかれた内容として、当研究所が昨年夏から始めている「屋上緑化の実験」に関心が集まりました。その他、パネルや映像によるものも関心を集めているのが印象的でした。なお、「研究が都民の具体的な環境配慮行動に結びつくように！」とのご意見を踏まえ、今後、公開内容やＰＲの方法を工夫していきたいと考えています。

興味をひかれた内容（件）



来所者の住所地（人）



時計回りに、江東区内、都内他の区、多摩地区、他県の順となっています。来所者は、江東区内の方々よりも、都内他の区からの方の方が多く、多摩地区からこられた方も昨年を上まわりましたが、他県からの来所者は残念ながら昨年の半数以下でした。

当日の施設公開の一部をご紹介します



屋上緑化の実験の説明

当日は天候にも恵まれ、自動車排出ガス実験棟の屋上では、設置されている屋上緑化実験施設を囲み、大勢の方が研究員から熱心に温度の低減効果など聞いていました

パネルとパソコンによるヒートアイランド現象の説明

東京のヒートアイランドについて、研究員がパソコンを駆使して映像を交えながら説明しています





自動車排出ガス実験棟公開の様子

展示されているＤＰＦに関心を示したり「スス」がはいったペットボトルに驚いたりしていました